

ふく じょう じ 福成寺遺跡

(仮称)

事業名 一般県道 東予玉川線 埋蔵文化財調査
委託者 愛媛県 (西条地方局丹原土木事務所)
受託者 (財) 愛媛県埋蔵文化財調査センター
面積 9.700m²
期間 平成14年4月～平成14年12月 (予定)
遺跡名 福成寺遺跡 (仮称)
場所 東予市福成寺



図1 遺跡位置図



1号墳・2号墳検出状況 隣接した2基の古墳を検出しました。

(財) 愛媛県埋蔵文化財調査センターでは、東予市福成寺において発掘調査を行いました。今回の調査では、縄文時代～古墳時代にかけての人々の生活の跡(遺構や遺物)を確認することができました。

特に、古墳時代後期(約1500年前)の古墳や弥生時代中期(約2000年前)の^{たてあなじゅうきょあと}竪穴住居跡などが検出され、当時の人々の生活の一端が明らかになりました。



1号竪穴住居跡検出状況

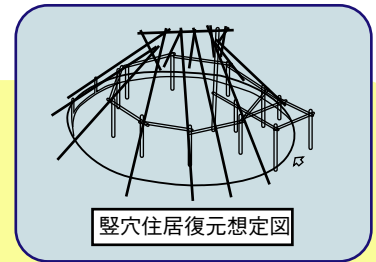


2号竪穴住居跡検出状況



64号土坑遺物出土状況

土器がまとまって出土した土坑
(縄文晩期)



竪穴住居復元想定図

弥生時代中期の竪穴住居

弥生時代中期住居（竪穴住居跡）が2棟検出されました。

1号竪穴住居の平面形は円形で、規模は、17.2m² (4.2m×4.1m) です。特徴としては、竪穴壁上端から竪穴外縁部にかけて、約20cm程度の柱穴が10本検出されています。これは、垂木を据え付け、屋根をかける（土葺き・草葺き）弥生時代の住居の形式と考えられます。

一方、2号竪穴住居の平面形はほぼ正方形で、規模は、16.2m² (4.2m×3.85m) です。特徴としては、住居中央部に楕円形の穴を掘った炉（地床炉）を備えています。また、南側壁面に沿って中央床面より約10cm程度、一段高く造る土壇上遺構（ベッド状遺構）が検出されています。用途としては、寝台としてのみでなく、収納スペースや祭壇なども考えられます。

このように同時期であっても、住居の形に円形と方形があるのは、地域性や時代性を反映しているのでしょうか。

なお、弥生時代中期における方形の住居形式は、東予地方において初めて確認されました。

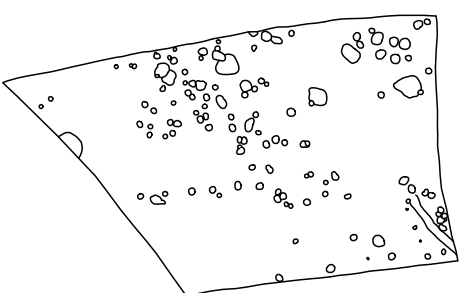


図2 調査区遺構平面図

表1 調査古墳一覧表

古墳	墳丘・規模		埋葬施設・規模	
			種類	玄室全長・幅・高さ
1号墳	円	約8.0m	両袖式・横穴石室	2.30m・1.27m(中央)・60cm
2号墳	円	約8.4m	片袖式・横穴石室	2.08m・1.04m(中央)・30cm

表2 古墳出土遺物一覧表

古墳	須恵器							土師器				装飾品		武具		農工用具		
	蓋	坏	高坏	はそう	短頸壺	提瓶	脚付壺	坏	高坏	甕	壺	耳環	管玉	ガラス	鉄鏃	鎌	刀子	砥石
1号墳	5 (2)	0	1	2	1	0	1	2	0	1	2	0	0	1	1	0	1	
2号墳	7 (3)	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2*	0	1	0	

() は坏身の数を表す。*は調査中である。



1号墳遺物出土状況



2号墳遺物出土状況

この二つの古墳の埋葬施設は、石室入口の開閉が可能で、追葬・合葬を目的とした埋葬施設である横穴石室です。

どちらの古墳とも、開墾や土圧等によって、盛り土や積み上げていた石が無くなってしまい、規模は明確ではありません。しかし、墳丘に施されていたと考えられる外部構造の一つである周溝の型より、墳丘形は円墳と考えられます。

副葬品としては、土器、装飾品、武具、農工用具などが出土しました。副葬品の置き方などは当時の葬送儀礼を知るうえで貴重な資料と言えます。

葬られた時期は、出土遺物より、6世紀後半（1500年前）と考えています。

古墳について

特徴

- ・石室の石材 (花崗岩系の石である。小さい石が多く使われている。)
- ・石室の構造 (胴張りを意識しており、羨道部から玄室がステップ状である。)
- ・石の組み合わせ技術 (基底石・・・平積み 2段目以上・・・小口積み)
- ・土器の出土状況 (現位置を保った状態で出土した可能性が高い。)

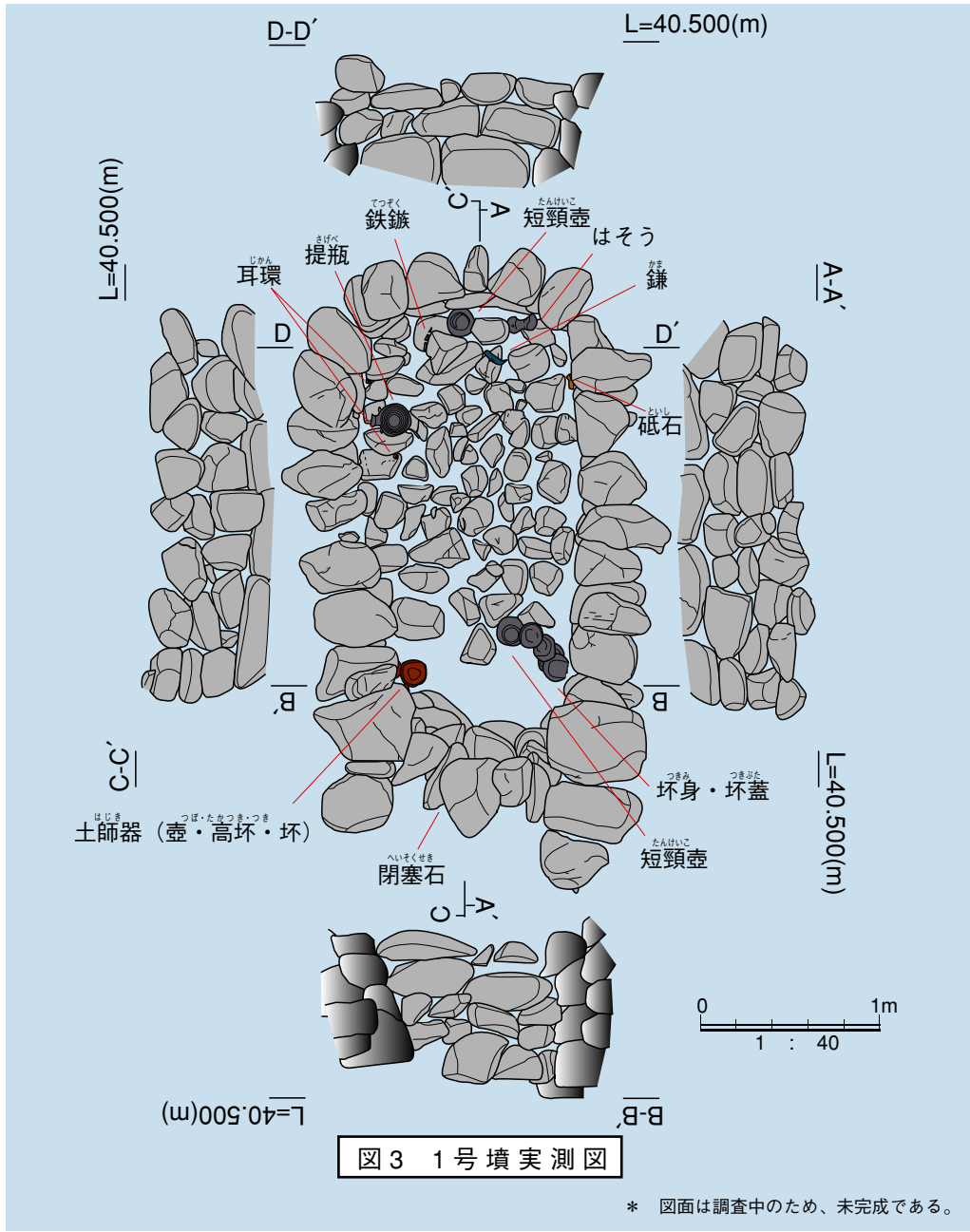


図3 1号墳実測図

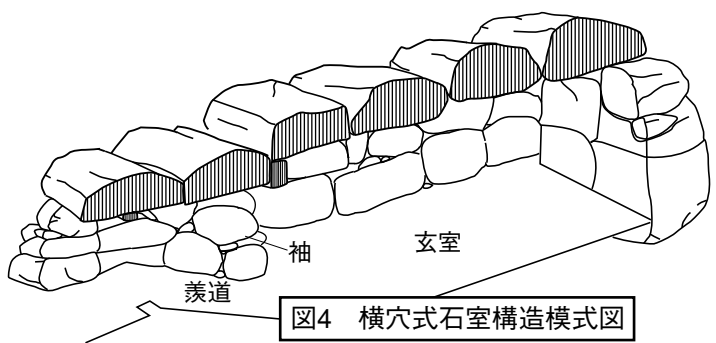


図4 横穴式石室構造模式図

石室の構造は、遺骸(いがい)を安置する**玄室**(げんしつ)と、玄室への通路となる**羨道**(せんどう)からなります。玄室に接続する羨道が一方に偏らず、玄室の長軸線につくられていて、玄室との境界の両側に袖をもつものを**両袖型**(りょうそでがた)、片方にだけ袖をもつものを**片袖型**(かたそでがた)、玄室と羨道の区別がないものを**袖無型**(そでなしがた)と呼び、平面形の上からの分類がなされています。